

やすらぎ 短信

平成 29 年
4 月号

祈りと感謝の繰り返し



いよいよ新年度が始まり、四月から入学、入社をされる方は、期待に胸をふくらませていることでしょう。浦幌神社の境内にもちらほら福寿草が咲いてきました。この時期になりますと各神社で春祭りが行われます。春祭りは「祈年祭」（きねんさい）ともいいます。古くから日本人は、春を迎えると神様へ五穀豊穣を祈るお祭りを行ってきました。春に豊作を祈り、秋の収穫に感謝する「祈り」と「感謝」の繰り返しを続けてきたことは、日本人の大切な精神文化の一つです。

春の社日祭を齋行

去る三月二十五日午後一時より、春の社日祭を浦幌神社社日碑の大前で齋行致しました。社日祭は、農耕神に五穀豊穣を祈るお祭りです。昨年は天候不順で大変苦勞の多い年でございましたので、ご参列の皆様は「今年こそ」という思いで祈りを捧げておりました。



浦幌神社氏子会定期総会

去る三月十日に浦幌神社定期総会が開催されました。氏子会定期総会が開催され、すべての案件が原案どおり可決されましたことをご報告申し上げます。本年度も氏子皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

下坂容山副会長ご勇退

新理事に経堂岩夫氏就任

去る三月十日に開催されました浦幌神社定期総会で下坂容山副会長がご勇退され、新理事に経堂岩夫氏が就任致します。下坂容山氏は平成八年より二十年の永きに亘りご奉仕を頂きました。役員としてはもとより、神社の塗装工事など境内整備等にもお力添えを頂きました。役員一同心より感謝申し上げます。経堂岩夫氏は、平成二十七年より総代長に就任され、新たに役員より推薦を受け新理事に就任されました。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



平成 25 年、下坂容山氏の奉納により、乳神神社の塗装工事が行われました。

日本の年中行事あれこれ

端午の節句

五月五日は、端午の節句です。この行事はもともと、田植えの前に田の神様に五穀豊穡を祈る儀式でした。若い女性が田植えの前日に魔除けのために菖蒲（しようぶ）や蓬（よもぎ）で葺（ふ）いた屋根の家にこもって身を清めて田植えに備えた「五月忌み」がもとになっており、本来は女性が主役でしたが、後に「菖蒲」が「尚武」に通じるという縁起から、武者の人形を飾るなど、男子の節句として広まりました。鯉のぼりも、鯉が滝を登り切って竜になったという故事から「立身出世」の象徴として各家であげられるようになりました。



浦幌神社の鯉のぼり

浦幌神社では、端午の節句にあわせて、境内に鯉のぼりを上げております。ご自宅で大きな鯉のぼりを上げる家も段々少なくなってきたことから平成二十七年より三十四匹程度ですが上げております。空高く、勇壮に泳ぐ大きな鯉のぼりお子様、お孫様と一緒にどうぞ見にきて下さい。



期間 四月二十九日～五月五日まで

車祓いのご案内

お車のご購入に際し、お祓いを受けられ、新たに交通安全の志を高めましょう。新車、中古車を問わずお祓い致します。大型・特殊車両のお祓いで、ご希望であれば、神主が出張致します。



浦幌神社行事予定

四月一日 月次祭
四月十五日 月次祭

発行 浦幌神社社務所

北海道十勝郡浦幌町字東山町十八番地の一

電話 〇一五・五七六・二四四八